

『良友』画報と上海の文学研究

孫 安石／山口 建治／村井 寛志／大里 浩秋 (名誉教授)

『良友』画報を取り上げた本研究は2015年から3年間にわたり学内共同研究(『良友』画報と東アジアの都市文化に関する共同研究)に採択され、今まで活動記録をすべて掘り起こし研究会のブログ <http://liangyou.jugem.jp/> に内容を一般公開している。以下、2016年1月以降の活動記録を記す。

(1) 第56回『良友』画報研究会

日時：2016年2月19日(金曜日)

場所：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス
D号館3階 アクティブ・スタジオ

報告：

- (一)「North China Heraldと日本人」藤田拓之
- (二)「『上海日日新聞』について」竹松良明
- (三)「North China Heraldと『良友』画報」孫安石

コメンテーター：菊池敏夫、中村みどり、村井寛志、森平崇文、呉孟晋、石川照子

(2) 第57回『良友』画報研究会—国際シンポジウム「上海租界と行政(一)」

主催：神奈川大学・『良友』画報研究会

日時：2016年6月23日

場所：神奈川大学横浜キャンパス1号館308室
司会：中村みどり(神奈川大学)

- (一)「上海市社会局の研究」李鎧光(台湾、中央研究院研究助手)
- (二)「上海市社会局と『風紀』問題」菊池敏夫(神

奈川大学)

(三)「上海租界の納税人会議と中国人参事」王敏(上海社会科学院)

(四)「『上海市政概要1934』を読む」孫安石(神奈川大学)

(五)「中支那振興株式会社の研究と課題」高綱博文(日本大学)、

コメンテーター：石川照子(大妻女子大学)、村井寛志(神奈川大学)

(3) 第58回『良友』画報研究会—国際シンポジウム「上海と『良友』画報の世界」

日時：2016年10月22日(土曜日)10時-5時

場所：神奈川大学横浜キャンパス・3号館307室
司会：孫安石(神奈川大学)

第一部

(一)「『良友』にみる食文化について」岩間一弘(慶應義塾大学)

(二)「『良友』画報と文学」中村みどり(神奈川大学)

(三)「『良友』画報と日本表象—『日本人生活』を手がかりとして」石川照子(大妻女子大学)

コメンテーター：孫慧敏(台湾中央研究院)、林美莉(台湾中央研究院)、陳祖恩(上海市社会科学院)

第二部

(一)「『良友』画報とポスター」田島奈都子(青梅市立美術館)

(二)『『良友』画報と漫画』城山拓也(立命館大学)

(三)「上海小報議《良友》」林美莉(台湾、中央研究院)

(四)「『誰讀《良友》?』」孫慧敏(台湾、中央研究院)

(五)『『良友』画報和大上海都市計画』陳祖恩(東華大学)

コメンテーター：菊池敏夫(神奈川大学)、村井寛志(神奈川大学)、森平崇文(神戸学院大学)

